

私たちはメディアに  
操作されている？  
～行動経済学アプローチ～

愛知大学 古川ゼミ

松崎春香  
佐藤海斗  
大矢紗也菜

伊藤皇貴  
伊藤慎悟  
浅野萌絵

この中に事実が述べられているニュースは何個あるでしょう？

①水族館のマグロがカメラのフラッシュのせいで死亡した

②真冬の北海道で公園の便器が冷たすぎて座った男性が死亡した

③熊本地震の直後、動物園からライオンが脱走した



④コロナウイルスワクチンを打つ前にポカリスエットを飲むと副作用が軽減される



正解は **0個** です！！

メディアやSNSから発信された情報は全部信じていいの??



## Research Question

1. メディアやSNSは人を操作できるのだろうか
2. どのような方法で人を操作できるのだろうか
3. どのような人が操作されやすいのだろうか

## 調査方法

- ・ Google formを用いたアンケート
- ・ 39問の質問を出題
- ・ 有効回答者数 88人



**注意：実施条件が人によって異なる、ランダムに抽出されていない、サンプルの少なさなど問題は多い。しかし、コロナ禍で適切な環境での実施が困難だったため、このアンケートから類推できる結果を1つの可能性として提示する。**

行動経済学の理論である

アンカリング効果を利用しアンケートを作成すると  
回答を操作することができるのか??

# アンカリング効果とは??

- ・例 被験者を2つのグループに分けて質問

## Aグループ

1年間に

自動車事故が原因で死ぬ人は

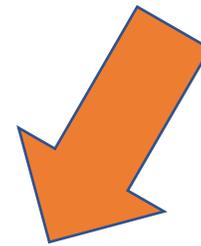
**50000人**ですが、

## Bグループ

1年間に

感電が原因で死ぬ人は

**1000人**ですが、



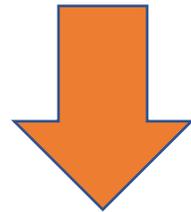
肺がんで死ぬ人は何人いるのでしょうか？

# 結果

明らかに

A（自動車事故50000人）の方が

B（感電1000人）よりも**多い人数**を答えた



**人は不確定な判断をするときに**

**初期値**（Aの場合 = 50000、Bの場合 = 1000）が**影響する**

この現象を『**アンカリング効果**』という

アンカリング効果や表現方法を工夫  
したアンケートの分析結果

# アンケート①

実施方法：誕生日が**奇数**か**偶数**かの2グループに分けて質問

(完全なランダム化ではないので回答に偏りが出してしまう可能性があるが、今回は一つの可能性として提示する。)

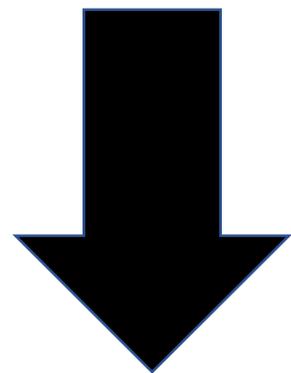


## 質問内容

**奇数**： 昨年ロシアのモスクワで**最高気温24℃**を記録しましたが、日本の昨年の最高気温は何度だったと思いますか？

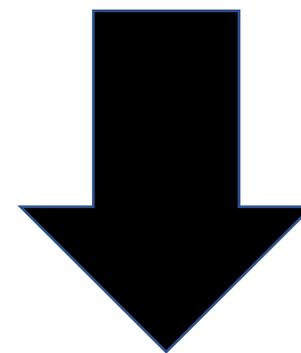
**偶数**： 昨年アメリカのデスバレーで**最高気温54℃**を記録しましたが、昨年の日本の最高気温は何度だったと思いますか？

奇数 (最高气温24°C)



38.3°C

偶数 (最高气温54°C)



40.9°C

文章に**大きい数字**がある方が

回答者の**最高気温の平均値が高くなった**

奇数(低い方: 最高気温24℃)  
実際 (41℃) より低く回答

偶数(高い方: 最高気温54℃)  
実際 (41℃)より低く回答

アンカリング効果を利用して、  
回答を操作できる可能性を示唆？

■ 低く回答した割合 ■ 高く回答した割合

■ 低く回答した割合 ■ 高く回答した割合

低い数値を見せられたグループの方が、高い数値を見せられたグループと比べて、最高気温より低く解答する割合が多い

# アンケート②

実施方法：誕生日が**奇数**か**偶数**かの2グループに分けて質問

質問内容

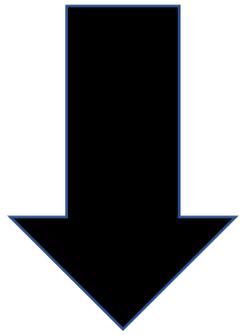
**奇数**：世界で一番身長の高い男性は**272センチ**ですが、日本人男性の平均身長は何センチだと思いますか？

**偶数**：世界で一番身長の低い男性は**54.6センチ**ですが、日本人男性の平均身長は何センチだと思いますか？



奇数

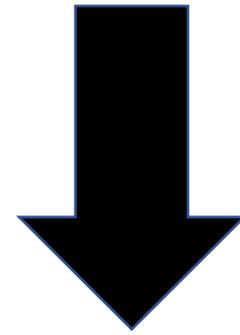
(最高身長272cm)



**173.6cm**

偶数

(最低身長54.6cm)



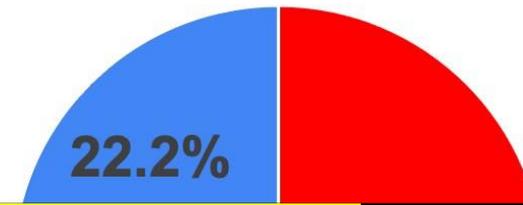
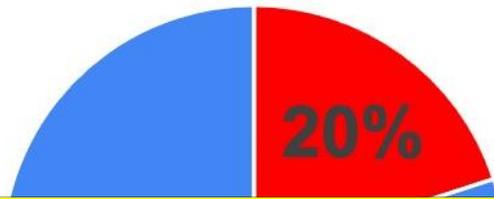
168.1cm

文章に**大きい数字**がある方が

回答者の平均身長**の平均値が高くなった!**

奇数 (高い方:最高身長272cm)  
実際 (172cm) より低く回答

偶数 (低い方:最低身長54.6cm)  
実際 (172cm)より低く回答



アンカリング効果を利用して、  
回答を操作できる可能性を示唆？

■ 低く回答した割合 ■ 高く回答した割合

■ 低く回答した割合  
■ 高く回答した割合

低い数値を見せられたグループの方が、高い数値を見せられたグループと比べて、実際の平均身長より低く解答する割合が多い

# アンケート③

実施方法：誕生日が**奇数**か**偶数**かの2グループに分けて質問



## 質問内容

**奇数**：岸田総理大臣は就任以降記者団の質問に**丁寧に答える**だけでなく、逆に提案するなど**積極的にマスクミ対応**している。岸田総理大臣に対してどのような印象を持ちますか？

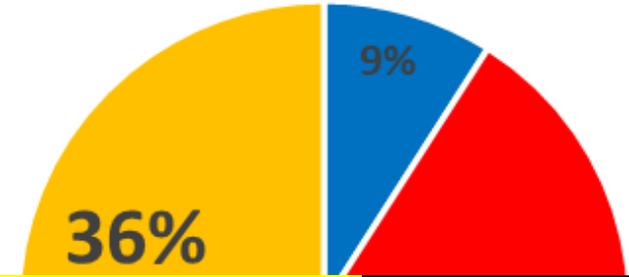
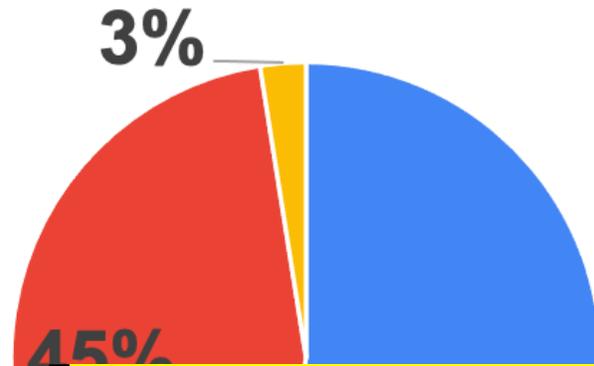
**偶数**：岸田総理大臣は就任後記者団に対しての**無視が目立っている**。岸田総理大臣に対してどのような印象を持ちますか？

奇数

(いい印象を与えるような文章)

偶数

(よくない印象を与えるような文章)



表現方法を工夫することで、  
回答を操作できる可能性を示唆？

■ 3.いい印象を持たない

いい印象を与えるような文章を記載したグループの方が、  
よくない印象を与えるような文章を記載したグループと比  
べて、いい印象を持つと回答した割合が多い。

アンカリング効果や表現の仕方によって  
回答を操作できる！？



どのような人が操作されやすいの??

アンカリング効果によって  
影響された人は  
合理的かどうか？に注目

合理的かを判断する方法としてリンダ問題を使用

# リンダ問題

- ① 31歳独身女性 ② 差別や社会主義問題に関する活動に関わる  
③ 大学時代は哲学を専攻 ④ 外交的・知的・はっきりものを言う



**リンダの職業としてどちらが可能性が高いと思いますか？**

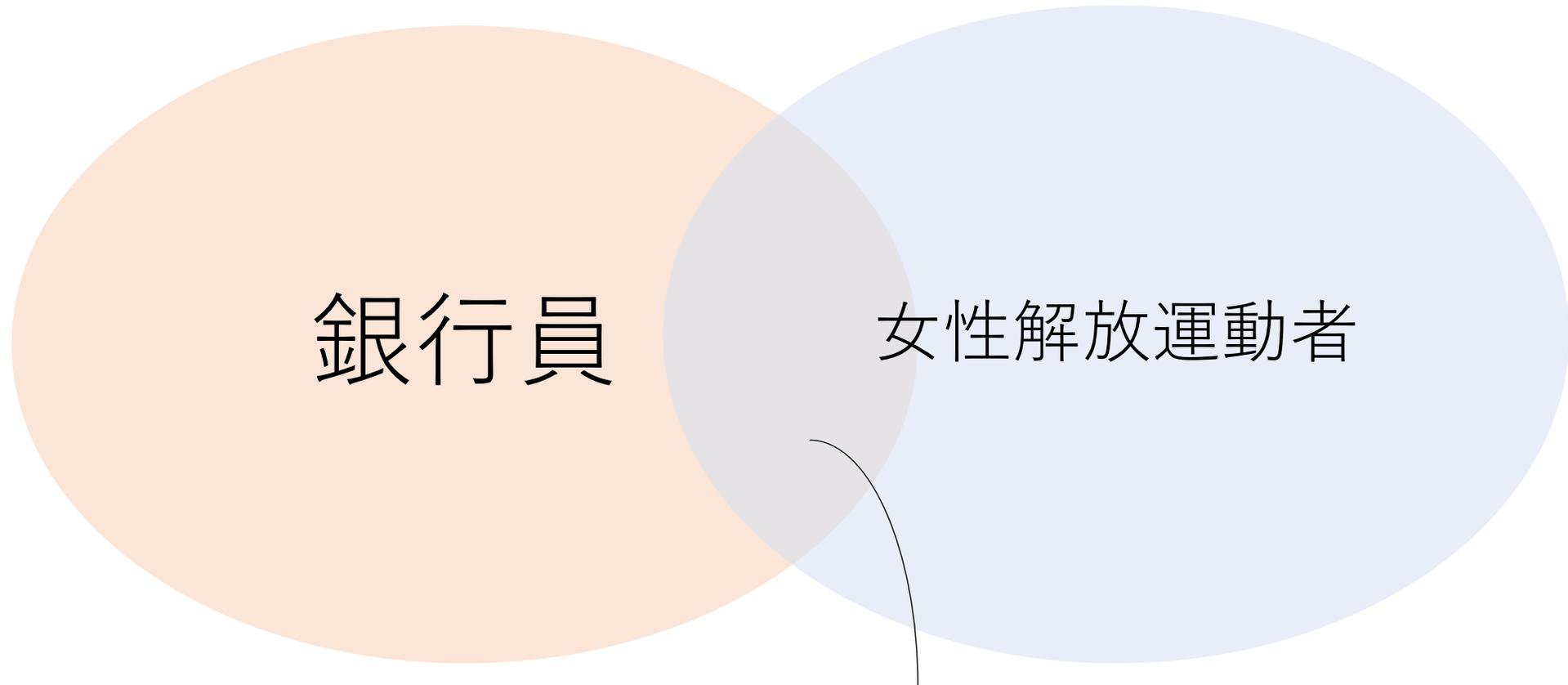


A. 銀行員

B. 銀行員で女性解放運動をしている



# リンダ問題



銀行員で、女性解放運動をしている

リンダ問題によって  
不合理な選択をした可能性がある人の分析データ

Q1.あなたは占いを信じますか??

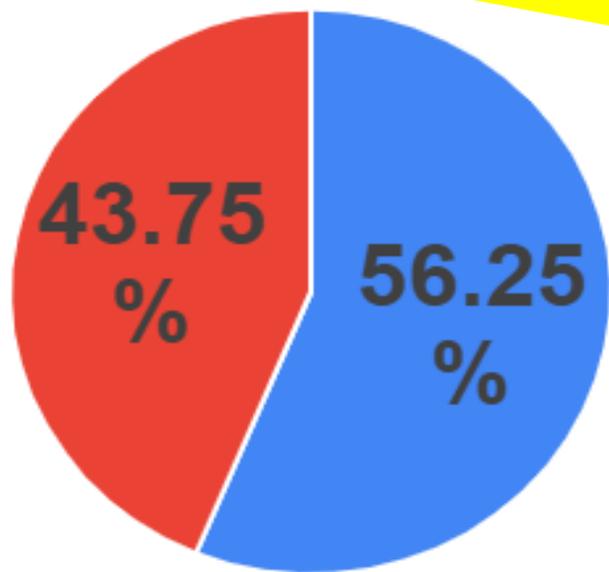
占いを信じやすい人の方が操作されやすいと考えた



リンダ問題で不合理な判断をした人

信じる→84%

不合理 (リンダ問題に引っかかる)な  
人の方が、占いを信じている？



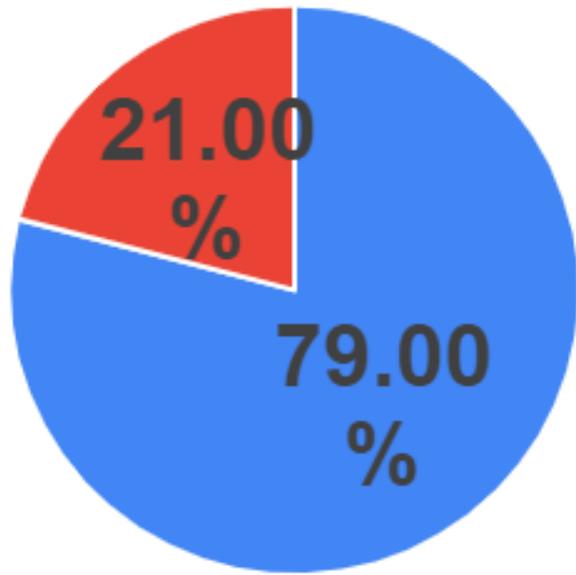
リンダ問題で合理的な判断をした人

信じる→56.25%

■ 不合理 (バイアス) ■ 合理的

Q2.あなたは自分が騙されやすいと思いますか？

騙されやすいと自覚している人は操作されやすいと考えた

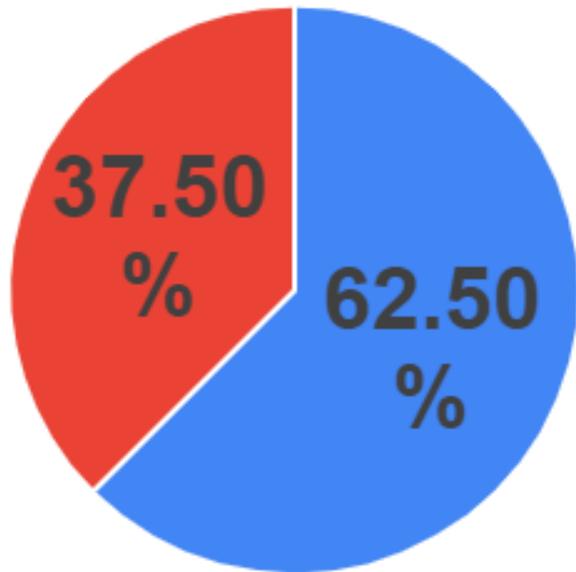


■ 不合理 (バイアス) ■ 合理的

リンダ問題で不合理な選択をした人

**騙されやすい→79%**

**騙されやすいと回答した人の  
方が操作されやすい!?**



■ 不合理 (バイアス) ■ 合理的

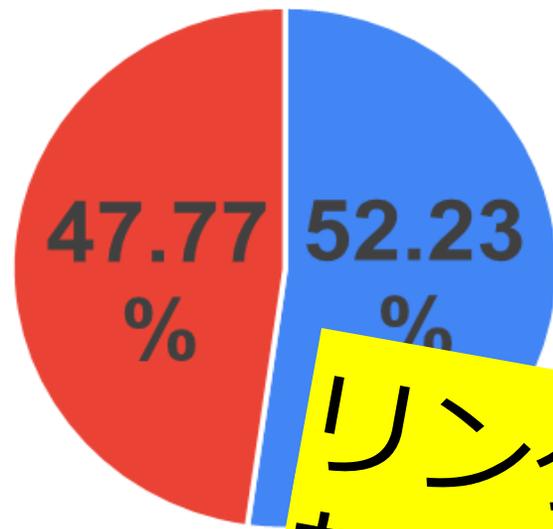
リンダ問題で合理的な判断をした人

**騙されない→62.5%**

Q3.あなたは中国の研究所からコロナウイルスが流出したと思いますか？

不合理的な判断をする人はフェイクニュース においても同様の判断をすると考えた

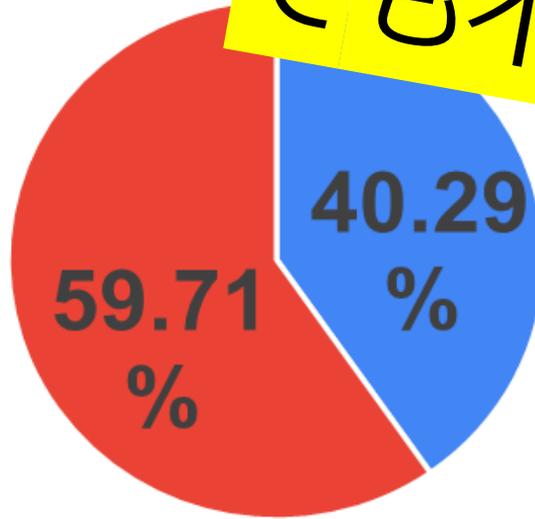
流出したと回答した人の中で  
不合理な回答をした人の割合



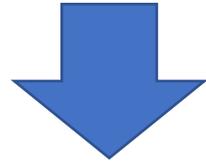
52.23%

リンダ問題において不合理な判断をした人のほうがフェイクニュースに対しても不合理な判断をしやすい！？

40.29%



アンカリング効果や表現方法によって回答に影響を与えることができる



メディアも私たちのことを操作することができるかも...？

# 参考文献

- ・ 「わが国における誹謗中傷・フェイクニュースの実態と社会的対処」  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000745004.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000745004.pdf)
- ・ 「新型コロナワクチンQ&A | 厚生労働省」  
<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0086.html>
- ・ Itmediaビジネスオンライン-中高生の3割がフェイクニュース見破れず  
<https://www.itmedia.co.jp/business/articles/1903/13/news076.html>
- ・ 「行動経済学 経済は「感情」で動いている」 (光文社新書) 新書 – 2006/5/17 友野 典男
- ・ 「くらしの好みと満足度についてのアンケート」 大阪大学社会経済研究所  
[https://www.iser.osakau.ac.jp/survey\\_data/top\\_jp.html](https://www.iser.osakau.ac.jp/survey_data/top_jp.html)

ありがとうございました！